

## 米国 受注減少ペースは鈍化（09年5月製造業受注）

発表日：2009年7月3日（金）

～年後半は緩やかな回復に留まろう～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

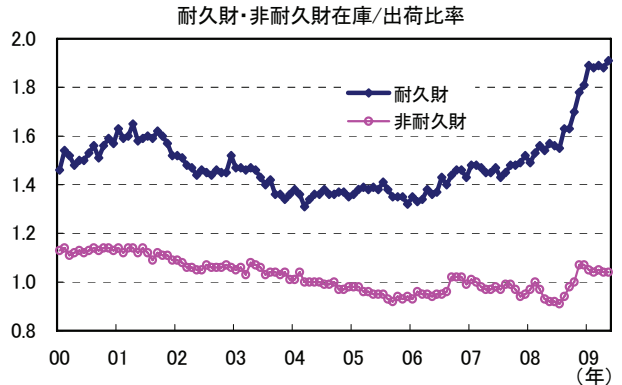
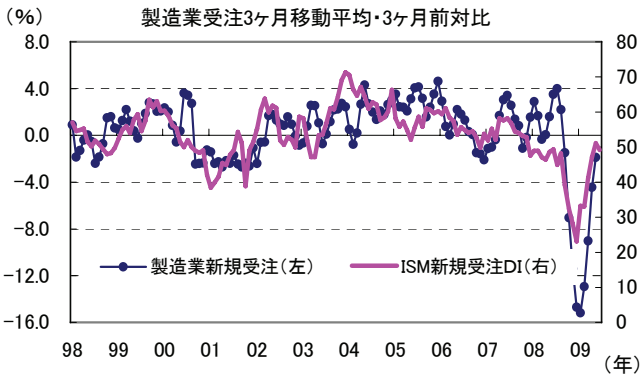
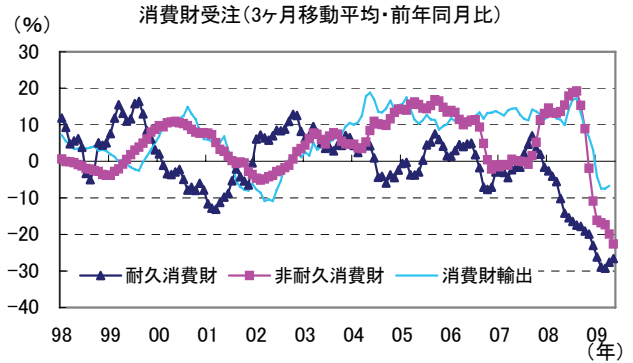
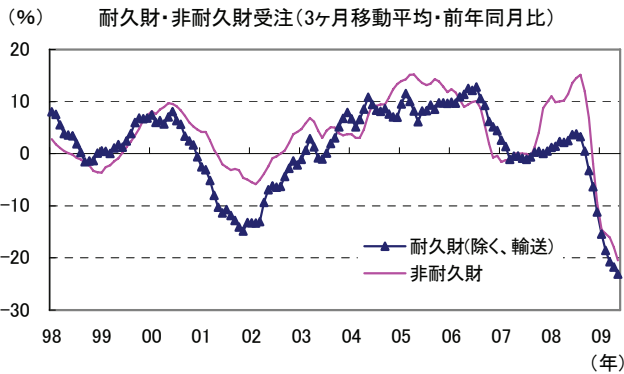
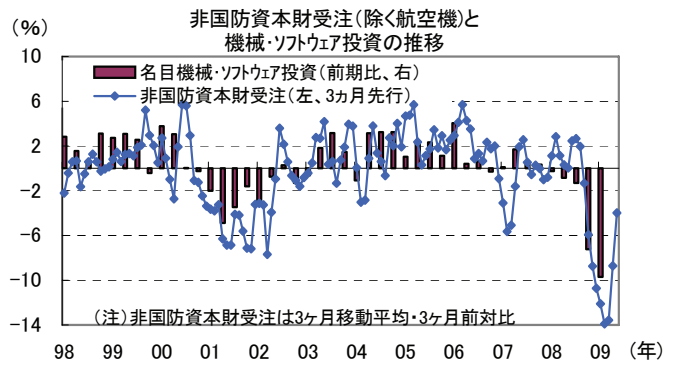
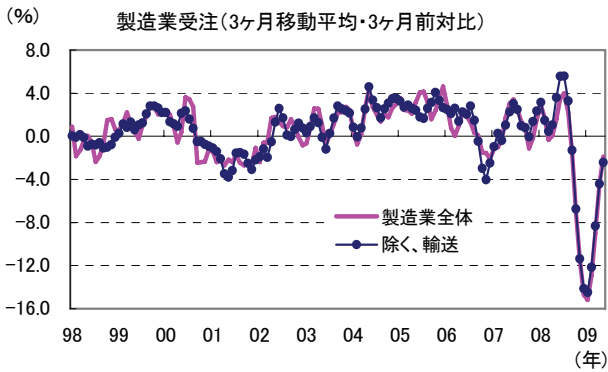
- 5月の製造業受注は前月比+1.2%（前年同月比▲22.7%）と、前月同+0.5%（同▲22.9%）に続き前月比で増加した。市場予想を上回る増加となったが、非国防航空機・同部品の受注が大幅に増加した影響が大きい。同統計はもともと単月での変動が大きいので、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均してみると、製造業受注は▲1.9%（前月▲4.4%、前々月▲9.0%）と着実に減少幅を縮小しており、リーマンショック以降の急速な受注減少には歯止めが掛かっている。
- 機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（航空機除く）は前月比+4.7%（前年同月比▲22.3%）と前月同▲3.5%（同▲26.0%）の減少から増加に転じた。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均してみると、▲4.0%と前月▲8.7%からマイナス幅が縮小していることから、4-6月期の名目機械・ソフトウェア投資は前期比でマイナス幅を縮小するとみられるが、企業業績不振、マインド低迷、設備稼働率が低水準にあることから、本格的な回復に至るまでには時間が掛かるだろ。
- 耐久財受注の内訳をみると、一次金属は前月比+0.1%（前年同月比▲46.9%）と前月（前月比+0.2%）に続き小幅増加したが、前年同月からは4割を超える大幅な減少、加工金属は同▲2.4%（同▲19.2%）と前月の上昇は一時的なものに留まった。機械は同+7.1%（同▲27.7%）と増加したが、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均してみると、マイナス幅を縮小する程度で推移している。コンピュータ・電子製品は+2.5%（同▲11.8%）と増加、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比では10ヵ月ぶりにプラスに転じており、在庫調整の進展により徐々に持ち直している。輸送機器は同+3.8%（同▲25.6%）と前月に続き増加したが、非国防航空機・同部品の受注上振れによる一時的な増加であり、自動車・同部品は深刻な受注減少が続いている。家具・同関連製品は同+0.8%（同▲20.1%）と前月から増加したものの、住宅市場低迷の影響を受け、回復の兆しは見えていない。
- 耐久財の在庫率は在庫削減を上回る出荷の減少により、1.91と前月1.88から上昇している。非耐久財は1.04と前月から横ばいで推移している。
- 今後については、在庫調整の進展と景気対策の効果が徐々に現れ、製造業受注は3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で年後半にプラスに転じるとみられる。しかし、設備稼働率が低水準にあることや企業業績の悪化により設備投資意欲が低調に推移すること、雇用環境の悪化により消費の低迷が続くとみられることなどから、回復ペースは緩やかなものに留まると予想される。

製造業受注 (Manufacturers' Shipments, Inventories and Orders)

	出荷			受注						在庫		
	製造業	除く輸送機器	非国防資本財 除く航空機	製造業	除く輸送機器	非国防資本財 除く航空機	製造業	除く輸送機器	非国防資本財 除く航空機	製造業	除く輸送機器	非国防資本財 除く航空機
08/06	+1.9	+1.9	+0.6	+2.1	(+7.5)	+2.7	(+12.1)	+1.6	(+5.5)	+1.2	+1.3	+0.5
08/07	+1.4	+1.3	+0.3	+0.7	(+4.7)	+0.5	(+10.0)	+0.3	(+4.3)	+0.6	+0.5	+0.6
08/08	▲3.7	▲3.1	▲2.1	▲4.3	(+3.9)	▲3.6	(+8.2)	▲2.3	(+1.6)	+0.7	+0.7	+0.7
08/09	▲3.1	▲3.8	+1.7	▲3.1	(+0.9)	▲4.3	(+3.1)	▲3.4	(▲1.7)	▲0.8	▲0.9	+0.1
08/10	▲3.6	▲3.4	▲3.7	▲6.0	(▲6.3)	▲5.1	(▲3.3)	▲6.7	(▲6.1)	▲0.6	▲1.0	+0.3
08/11	▲6.5	▲6.8	▲1.3	▲6.5	(▲13.8)	▲6.0	(▲10.8)	+1.1	(▲5.1)	▲0.5	▲1.1	+0.0
08/12	▲3.3	▲3.9	+0.1	▲4.9	(▲19.5)	▲5.4	(▲16.1)	▲5.9	(▲14.6)	▲1.9	▲2.8	+0.5
09/01	▲2.6	▲2.4	▲9.4	▲3.5	(▲20.5)	▲2.4	(▲17.8)	▲12.3	(▲24.5)	▲1.1	▲1.2	▲0.8
09/02	▲0.5	▲0.6	▲0.2	+0.7	(▲19.7)	+0.5	(▲16.1)	+4.1	(▲20.6)	▲1.3	▲1.5	▲0.9
09/03	▲1.8	▲2.2	▲1.7	▲1.9	(▲22.3)	▲2.1	(▲20.0)	▲1.4	(▲20.9)	▲1.2	▲1.2	▲1.6
09/04	▲0.5	▲0.5	▲2.9	+0.5	(▲22.9)	▲0.2	(▲22.3)	▲3.5	(▲26.0)	▲1.2	▲1.5	▲1.2
09/05	▲0.9	▲0.1	▲0.3	+1.2	(▲22.7)	+0.8	(▲22.3)	+4.7	(▲22.3)	▲0.6	▲0.7	▲0.8

(出所) 米商務省

(注) 前月比伸び率。 () 内は季節調整値の前年比。



(出所) 米商務省、ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。